

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 1 月 26 日作成)

小委員会名	溶接施工小委員会		主 査 名：山田丈富 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工本委員会 (鉄骨工事運営委員会)		委員長名：：梶田佳寛 (岡田久志) 主 査 名：
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 4 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	2009 年度：前委員会の成果の取りまとめを行う。 溶接施工・管理に関する最新の研究資料の調査・分析を行う。 2010 年度：溶接施工・管理に関する最新の研究資料の調査・分析を行う。 2011 年度：溶接施工・管理に関する最新の研究資料の調査・分析を行う。 2012 年度：最新の知見に基づく合理的な溶接施工・管理方法に関する情報を学会員に向けて発信する。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：山田丈富 (千葉工業大学)，幹事：坂本真一 (清水建設) 委員：小野潤一郎 (日建設計)，笠原基弘 (溶接検査)，古賀郁夫 (東京鉄骨橋梁)， 小林光博 (駒井鉄工)，佐々木聡 (フジタ)，鈴木励一 (神戸製鋼所)， 田中剛 (神戸大学)，中込忠男 (信州大学)，松下真治 (IHI インフラシステム)， 松本由香 (横国大)，的場 耕 (角藤)，横田和伸 (NTT ファシリティーズ)， 米森信夫 (ヨネモリ)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2009 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	当初の計画通り、下記について活動した。 1. 前委員会の成果として、UT 規準で示された端部探傷法に関する検査ロットの組み方について、JIS Z 3312 の改訂内容の検討について、めっき割れの原因と対策についての取りまとめを行った。 2. 予熱の考え方、不等脚隅肉溶接などについて検討を行った。 3. 「建築工事標準仕様書 JASS 6 鉄骨工事」および「鉄骨工事技術指針」に関する質問に対する対応 (回答) を行った。
委員会活動の問題点 ・課題	特になし

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。